

食・嚥下障害の高齢者（中途障害）の対応について講義いただき、今回はその館先生が教えを受けた牧野先生から、札幌口腔医療センターの摂食・嚥下リハビリテーション外来でのご経験談を拝聴した。誤嚥性肺炎の予防などに歯科医が大きく係わっていることを認識し、我々歯科医が口腔全般に果たす役割が重要で且つ拡大しつつあることを改めて痛感させられた。（鳴海勝敏記）

## 美 唄

B i b o i

### 図画ポスターコンクール審査会開催

日時：7月24日

場所：美唄市教育委員会室

本年は大規模小学校の積極的なご協力により応募枚数113枚と多く、教育委員会による一次審査を経ての二次審査となった。

枚数盛況であったのは昨年から行っている図画ポスターコンクールの作品をカレンダー化したことと、担当滑川学校歯科医の強いご紹介によるところが大きい。また本年度は標語に食育推進と関連づける観点から「よく食べよくみがく」「よく食べてきれいな歯」などを用いるように希望を出したが、具体的にどのように図画やポスターとして表現するのは、少し難しかったかもしれない。

教育委員会からの審査者や村上担当理事共々選考に苦慮した点である。

図画ポスターのカレンダー化は日高歯会さんが、長年行ってこられた事業を真似たものだが、来年はよい歯のコンクール・8020高齢者歯のコンクールの入選者の写真も掲載予定で、先般のよい歯のコンクールでも一次審査で脱落した児童7名即ち父母児童14名も最後の撮影まで残ってくれるなど、その効果が早速あらわれてきているのは誠に嬉しい。



競争原理が働くことは、作品向上と啓発効果に不可欠のことであり、あとは継続できるかどうかというところか。入選者等については、当会トッ

ページにて掲載。（小森英世記）

### 市民ふれあいまつり「お口の健康度チェック」

日時：7月27日

場所：美唄保健センター

例年60名ほどの参加があるイベントでしたが、今年は晴天でまつりが盛り上がったにもかかわらず、35名の参加でした。

検査項目が増え、一人の検査終了までの時間が長くなったからでしょうか？しかし、参加人数は少なくとも個人個人の口腔への関心の高さは相談内容などからうかがえました。（岩本友理子記）



## 空 知

S o r a c h i

### 第一回学術講演会

日時：7月18日 午後7時より

場所：滝川ホテル三浦華園

講師：北大大学院 鄭 漢忠准教授



演題：口腔外科におけるトピックス

最近よく聞こえてくる、ビスホスホネート系薬剤と顎骨壊死の関連・悪性腫瘍の鑑別方法について、症例を交え教えていただいた講習会でした。

（伊藤公博記）